



編集・発行

大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター

大阪府羽曳野市はびきの3丁目7-1
TEL: 072-957-2121
FAX: 072-958-3291
HP: <http://www.ra.opho.jp>
E-mail: kokyucen@ra.opho.jp



就任のご挨拶

本年4月1日から院長に就任した太田三徳^{オオタ ミツノリ}です。

私は2006年8月から呼吸器外科部長として呼吸器全般の手術を、2009年4月から副院長として保険診療の適正化と医療安全活動、医療機器の整備、収支改善策などを担当してきました。

ご存じのように、当センターは府立の結核専門病院として1952年（昭和27年）に開院しました。当時の肺結核は、年間死亡数10万人、死亡順位2位というすさまじい難治性疾患で、当センターは初めから呼吸器の難治性疾患を扱う施設として誕生しました。

これまでの63年間に呼吸器を中心として多くの先進的な医療を提供してきましたが、その間に治療法や保健衛生の進歩により全国的には結核患者数の減少、癌や循環器疾患の増加、アレルギー疾患の多様化という変化と共に診療の重心も移り変わってきました。けれども潜在的に数百万人といわれるCOPDや大阪市内の高い結核罹患率、緩和医療を含む癌治療、アトピーや食物アレルギーといった難治性の慢性疾患への対応が必要という点では変わっておりません。同時に、高齢化により循環器科や消化器科が、少子化では産科と小児科など地域の一般診療も求められています。

こうした疾患に対して、4つの院内専門診療センターで診療に当たると共に、今年度は呼吸器ICUとHCUの増床、新生児ICUの開設を行って診療機能の向上をはかりました。

この様に、社会的なあるいは患者さんからの要請にこたえて、診療内容を精査し改革して、次の発展に繋げていきたいと考えています。今後も難治性慢性疾患に対する専門的医療機関として地域の一般診療とともに府民の健康に貢献してゆく所存ですので、どうぞよろしくごお願い申し上げます。

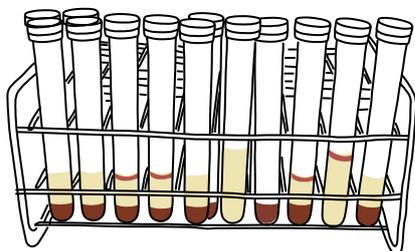
縁の下のテクニシャン集団

臨床検査科 田村嘉孝

臨床検査科は、病院の地下1階（まさに縁の下？）の検査室を中心に、総勢36名の臨床検査技師、医師などからなります。認定臨床微生物液検査技師1名、感染制御認定微生物検査技師1名、細胞検査士6名、認定サイトメトリー技術者1名、緊急臨床検査士3名、認定輸血検査技師1名、認定超音波検査士4名など、さらに専門資格を有する技師もいる、まさにテクニシャンの集団です。

各種の臨床検査は、診断や病状の評価、治療の効果判定など、さまざまな医療の場面で利用されており、現在の医療では欠かすことのできないものとなっています。一分一秒でも早く結果を報告すること（迅速性）、常に高い精度で正確な結果を得ること（正確性）、安全で安心して検査を受けていただくこと（安全性）、をモットーに日々活動しています。

主に血液や尿などの提出された試料を扱う検体検査部門と、心電図や呼吸機能、睡眠時ポリグラフ、超音波などの受検者に接して行う生理機能検査部門に分かれて業務しています。呼吸器・アレルギーの専門医療機関である当院では、肺がん、肺気腫、気管支喘息、結核などの呼吸器疾患を専門に診療していますので、私たち検査科でも、病理診断検査、(精密)呼吸機能検査、各種アレルギーの免疫血清学的検査、抗酸菌検査などの分野では、豊富な経験と高い技術を持って検査を行っています。



検査を受けていただいた患者さんに直接お会いすることは多くはありませんが、いろいろな検査の裏方として、縁の下で汗をかいている検査専門職集団がいることを知っていただければ幸いです。

アトピー性皮膚炎の検査TARC (タルク/ターク)

免疫血清検査 川澄浩美

アトピー性皮膚炎の主な症状は、長く続く湿疹です。治ったかと思って安心したらひどくなる、ふと良くなってはまた悪くなる、を繰り返します。かゆくて、掻きむしったり眠れなかったり。気分も落ち込みますし、身体だけではなく心にもつらい病気です。

アトピー性皮膚炎の治療には患者さん自身の地道な努力(薬を飲み、軟膏を塗る)が欠かせませんが、なかなか先が見えなくて、ついつい、「薬なんかもういいや」と、自己判断で薬をやめてしまうケースもあると聞きます。

こんなとき、TARCの値をみると・・・。

TARCはアトピーが重症なほど血液中に多くなり、良くなると劇的に少なくなる特徴があります。治療がうまくいけば、患者さん自身ではあんまり良くなっていないように思っても、数値はみるみる下がります。また、見た目にも良くなってみえても、炎症が残っていると値は下がりがらず、正常にはなりません。

その時点ではまだ薬をやめてはいけないことがわかります。TARCは、つらいときには励みに、病状が良くなってきたときに「気を抜かないで！」という警告にもなるようです。

当院ではこのTARCを2008年から院内で検査しています。これまでは、検査が手作業で報告までに時間がかかっていましたが、このたび、自動測定装置が導入され、今後はより早く検査結果をお返しできるようになります。状態把握がより早くできることで患者さんのモチベーション維持に役立てるといいなと思っています。



◆◆◆4月の教室案内◆◆◆

◆カンガルー教室	4月8・15・22日	午後1時30分～	第1会議室
◆禁煙教室	4月2日	午後3時30分～	医療情報コーナー
◆アトピーカレッジ	4月3日・10日	午前10時～11時	第2会議室
◆アトピー教室	4月3日・10・17・24日	午後2時～3時	第2会議室

◆◆◆5月の教室案内◆◆◆

◆カンガルー教室	5月13・20・27日	午後1時30分～	第1会議室
◆禁煙教室	5月7日	午後3時30分～	医療情報コーナー
◆アトピーカレッジ	5月1・8・15(第1会議室)・22・29日	午前10時～11時	第2会議室
◆アトピー教室	5月1・8・15・22・29日	午後2時～3時	第2会議室